

第34期新潟市社会教育委員会議第8回（書面会議）への意見等

1 協議事項

(1) 第34期社会教育委員会議報告書の原案について

No.	意見
1	報告書にまとめることが分かっているならば、前もって打ち合わせや情報交換をしたうえでワークショップに臨みたかった。

(2) 教育委員と社会教育委員との懇談会について

No.	意見
1	以前より時間が短すぎると感じている。しかし、コロナ禍の状況では致し方ないと考える。

2 報告事項

(1) 第63回全国社会教育研究大会石川大会 参加報告

No.	質問・意見
1	シンポジウムのまとめに「地域づくりの担い手 (builder) 育てとなる攻めの社会教育事業・活動の推進」・「主体的で対話的で協働的な学び・活動重視による地域コミュニティの創造的再生へ」と記載があり、まさに必要なことだと思うが、新潟市においては、どのように攻めの／地域コミュニティ創造につながる・社会教育事業が実現できるのか、委員をはじめ今回9/28に実施したワークショップのような場で検討できたら有り難い。

(2) 緊急提言「新型コロナウイルスの影響と社会教育」の実施状況について

No.	質問・意見
①	厳しい環境下での行政の努力に敬意を表する。 Wi-Fi環境等のハード面の整備が大きな課題として随所に上がっている。社会教育施設は数が多く、財政面のハードルも低くないと思われるが、整備計画のようなものはあるか。
②	分かる範囲で、「オール」利用者について教えていただきたい。（属性やコロナ禍における人数の増減など）
3	オミクロン株という今までと性質の異なる新型コロナウイルスの蔓延により、緊急提言をした時点とは状況が異なっているようだ。あまりこれにとらわれすぎても良くないのではないか。一つの例であるが、本に付着したウイルスがどれくらいでなくなるのか、よく分かっていないようだ。リスクを負うか社会教育を実践していくか、難しいところである。
4	コロナ禍において、各施設それぞれ社会教育の場の継続に苦勞、工夫されていると感心した。オンラインが適している、オンラインでは活動が難しい、ハイブリッドで問題ない、など活動の性質によってできる事をされている印象を受けた。 一部施設でWi-Fi環境が整備されていないとあるが、新しい生活様式が求められる状況においては必須ではないか。市は必要なところには金をかけるべきと思う。
5	各施設の工夫した取り組みに感謝する。 今後「オンラインで集う」「直接集う」のメリットを生かした取り組みが求められると思う。

(3) 令和3年度新潟市成人式 開催報告

No.	質 問 ・ 意 見
①	新型コロナウイルスの感染拡大中での開催に、大変な苦勞があったことと思う。新聞報道では、成人式関連の感染者も報じられたが、どのくらいの感染者がいたのか。
②	成人式後の会食（同窓会）で新型コロナウイルス感染拡大があった旨の報道があるが、新潟市教育委員会としてそのことに関しどう考えるか。また、来年度以降、何らかの対策を実施するか。
③	1月9日の状況と2月に入っての状況はまるで違っている。成人式は人生の大切な式典だとは思いますが、柔軟に考えて時期を変えるなど選択肢を増やすことがよりベターだと思う。
4	感想。厳肅な式であった。4回目の参加となり、年々、式にきちんとした姿勢で参加する成人が増えたと感じた。4年前は前方の席はほぼ空席で、後方の席で雑談をしている成人が圧倒的に多かったと思う。一生に一度の式なので、良かったと思う。
5	新成人が誰一人立ち上がる、私語をするようなこともなく、真剣に話を聞いていた姿が印象的だった。 フラワーの渋谷会長の話は良かった。①時間②友人③夢②と③は全くの同感でしたが、①の時間の中で若いうちにいろんなものを見聞きしなさい。借金してでも海外に行け、とあった。大賛成だが、借金はいけない。

その他

No.	質 問 ・ 意 見
1	社会教育には人的ネットワークがとても重要と思う。コロナ禍の2年間はオンラインを活用した交流が主流だった。一日も早くワークショップなど研修会後に情報交換会を行いネットワークを深めたい。